

# 第 24 回日本トライアスロン選手権(2018/東京・台場)

## 2018 NTT ジャパンカップランキング最終戦

### 出場選手の皆様へ (2018/10/10 現在)

第 24 回日本トライアスロン選手権(2018/東京・台場)出場おめでとうございます。

本大会はJTU競技規則を適用いたします。またJTU競技規則第6条に基き本大会の環境、条件を補足する為、ローカルルールを策定いたします。

JTU競技規則およびローカルルールに定めなき事項についてはITU競技規則を準用いたします。

#### [1] 選手受付・ユニフォームチェック

10月13日(土)15:15~15:45 ヒルトン東京お台場 1階 ジュピター

・選手本人の受付義務です。 顔写真付き身分証明書をご持参ください。

・ユニフォームチェックを行います。必ずご持参下さい。

※ 受付時間内にユニフォームチェックが完了しない場合は、競技説明会終了後に行います。

※ 顔写真付き身分証明書の例は、以下のとおりです。

- ・運転免許証      ・パスポート      ・社員証      ・学生証(顔写真付き)
- ・在学・在籍証明書(顔写真付き)      ・国際運転免許証      ・健康保険証(顔写真付き)
- ・クレジットカード(顔写真付き)      ・個人番号カード(顔写真付き)

#### [2] 競技説明会

10月13日(土)16:00~16:40 ヒルトン東京お台場 1階 ジュピター

※選手本人の参加義務です。

※欠席・遅刻・不参加は次により事前連絡が必要です。(JTU競技規則第30条)

・事前連絡期日:12日(金)午後6時迄:

JTU事務局(Eメール [jtuoffice01@jtu.or.jp](mailto:jtuoffice01@jtu.or.jp) 又は Fax03-5469-5403)に書面にて連絡の事。

・大会前日・当日 技術代表 : 渡邊 英夫 [hwatana@mvi.biglobe.ne.jp](mailto:hwatana@mvi.biglobe.ne.jp) 又は 080-5028-9661

審判長(男子): 今 雅利 [m1971kon1212@nifty.com](mailto:m1971kon1212@nifty.com) 又は 080-5509-1752

審判長(女子): 杉浦 真由美 [mayumiqt@yahoo.co.jp](mailto:mayumiqt@yahoo.co.jp) 又は 090-8485-0022

連絡を行った上での欠席・遅刻であっても、スタートコールを最後尾といたします(スイムスタート位置取りが最後となります)。また無断欠席した選手は出場することができません。(ローカルルール)

#### [3] バイク・ヘルメットチェック

14日(日)アスリートラウンジにて実施します。

女子は、07:00~08:00

男子は、09:30~10:40

男子トランジションオープンは(10:10 頃を予定)

チェックを受ける際、ヘルメットを正しく着用した状態でバイクを持ち込んで下さい。

当日受付チェックを受けてから、トランジションへのセッティングを行ってください。

#### [4]ユニフォーム

##### (JTU競技規則第33条、第35条、第36条、第61条、一部 ITU 競技規則準用)

[http://www.jtu.or.jp/register/pdf/15uniform\\_elite-b.pdf](http://www.jtu.or.jp/register/pdf/15uniform_elite-b.pdf)

ITU ユニフォームルールに準じる。[https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport\\_competition-rules\\_2017.pdf](https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport_competition-rules_2017.pdf)

- ・前面・後面にネーム(苗字)を表記すること(2014年から義務化)。
- ・ JPN 表記部分に個別スポンサー表記可(JPN でも可)
- ・ ITU ロゴ部分に個別スポンサー表記可(ITU ロゴでも可)
- ・ 上記 A~F のスペースにスポンサーロゴを表記できる。(詳細は ITU 競技ルールを確認のこと)
  - A スペースについて、その規定範囲を最大に利用して 1 社のスポンサー表記可とする。
  - JTU エリート強化 **OAB** 指定選手は F スペースもしくは A スペースに NTT ロゴを表記のこと。
  - 学校名、クラブの記載を希望する場合は A~F いずれかに表記のこと。

□ ウェットスーツ、バイク、ヘルメットにメーカーロゴ以外のスポンサーロゴ表示不可。

＝その他の競技用具へのスポンサー表記について＝

##### <ヘルメット>

ヘルメットメーカーのロゴは、前面では 30 平方 cm が 1 カ所、または 20 平方 cm のロゴを両側に付けることができる。他のスポンサーロゴをヘルメットに表示することはできず、これらの禁止ロゴをステッカーで覆うことも許可されない。

##### <バイク>

バイクには、自転車関連製品のロゴだけを競技者のバイクに表示できる。

##### <ランキャップ・バイザー>

帽子やバイザーには、スポンサーロゴは 1 つだけ表示できる。(最大縦 4cm、最大総面積 20cm<sup>2</sup>)

##### <ウェットスーツ>

ウェットスーツメーカーのロゴだけは、ウェットスーツに表示してもよい。

最大サイズは前面と背面にそれぞれ 80 平方 cm。このスペースは、ウェットスーツの内側と外側に許可される。

メーカーが前面または背面に 2 つ以上のロゴを希望する場合、合計が 80cm<sup>2</sup>を超えてはならない。

サイドパネルのロゴは、背面に 80 平方 cm 以内、あるいは前面に 80cm<sup>2</sup>以内でなければならない。

#### [5]水温とウェットスーツ(JTU競技規則第59条)

スイム距離	着用禁止水温	着用義務水温	基準制限時間
1500m 以下	20℃以上	15.9℃以下	30 分

強風、大雨、温度変化など気象条件により、技術代表(TD)とメディカル代表は、スイム距離やウェットスーツの使用可否を決定する。

※ウェットスーツ使用禁止のときは、肩の下の腕の部分や膝下の脚部をカバーすることを禁止する。

※ウェットスーツ着用許可のときは、アームウォーマー、レッグウォーマーの使用、ユニフォームの下にセカンドスイムウエアを着用することは許可するが、全競技が終了するまで脱ぐことはできない。

※第 57 条の使用禁止用品に該当しないか、事前に技術代表のチェックを受ける。

着脱可能な保温材等(但し第 57 条の使用禁止用品に該当しないもの)もセカンドスイムウエアとして扱うが、全競技が終了するまで外すことはできない。

※受付開始時(女子 7 時、男子 9 時 30 分)発表しますので、ウェットスーツは必ず準備してください。

## [6] トランジションへの持込制限 (JTU 競技規則第67条)

競技に関係ない持ち物、邪魔になるような大きな物の持ち込みは禁止です。

競技に必要な荷物や競技終了後に着用するウェアは、アスリートラウンジでお預かりし、リカバリーエリアで返却いたします。(スタート前に着用の上着などはスイム会場の選手待機テントで預けることもできます。)

女子スイムギア、バイク、ヘルメットについては、競技終了後、アスリートラウンジ横バイクラックへ移動しますので、速やかに引き取り/ピックアップをお願いします。

## [7] バイク及びハンドル (JTU 競技規則 ITU 競技規則準用)

- ・バイクは全長 1m85cm (185cm) 以内、全幅 50cm 以内でなければならない。
- ・バイクは、地面からチェーンホイール軸の中心まで 24cm から 30cm の範囲とする。
- ・サドルの最前部に触れる垂直線を想定し、チェーンホイール・アクスル(軸)の中心を通る垂直線の後方に男子は 5cm、女子は 2cm を超えるものとする。競技者は、競技中、これらのラインよりも前方にサドルを調整する余地を残してはならない。この規則の例外は、ITU TC から要求することができる。
- ・チェーンホイール軸を通る垂直線と前輪軸(フロントホイールアクセル)の中心を通る垂直線の間は、54cm より長く、65cm 以内でなければならない。

Diagram 6 Saddle Fore-Aft Position

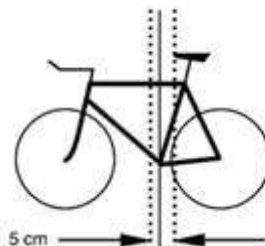
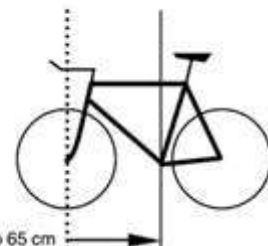


Diagram 7 Front to Centre Distance



### ハンドル

- ・伝統的なドロップハンドルだけを許可する。ハンドルバーは、先端がふさがれていなければならない。
- ・クリップオンハンドルバー(エアロバー)は、ブレーキレバーの先端よりも長くなければ許可される。
- ・左右のエアロバー先端部分にはスペースを設けることはできない。
- ・前方を向いたエアロバーの両先端は、メーカー製作の固いブリッジでつながれてなければならない。(ビニールテープ等による先端の連結は許可されない。)
- ・前方を向いた変速レバーはクリップオンバーの先端に取り付けることはできない。
- ・ハンドルの最高部とエルボーレスト(肘当て)の最内側の最低部の差は 10cm を超えてはならない。
- ・ウォーターボトルとそのホルダーはハンドルまたはクリップオンに取り付けてはいけない。

### ディスクブレーキ

- ・使用は可とする。
- 但し、ディスクブレーキ仕様のオフィシャルホイールの用意は有りません。

## [8] ヘルメット (JTU 競技規則第85条 ITU 競技規則準用)

バイク競技では、常にバイク競技用の硬質ヘルメットを、その取扱説明書に従い正しく着用しなければなりません。

1) 着用するバイク競技用硬質ヘルメットは、次に掲げる基準に適合したものを奨励します。

(1) Snell Memorial Foundation スネル記念財団

(2) American National Standard Institute (ANSI Z90.4) 米国規格協会

(3) U.S. Consumer Product Safety Commission (16CFR Part 1203) 米国消費者製品安全委員会

(4) CEN European Standard (EN1078) CEN 欧州標準

(5) The National Swedish Board of Consumer Policy スウェーデン消費者機構

(6) 財団法人日本自転車競技連盟 (JCF)

2) ひび割れ、表面の不良及びストラップの不良などがあるヘルメットの使用は禁止します。

規定のヘルメットを被って全体的に(偏りなく)少し圧迫感があるくらいのもので、ストラップは、締めた状態で指が横に二本くらい入るきつさで。頭を前後左右に強く振って、ずれない程度に調整してください。

\* タイムトライアル(TT)用とされる通称「TT ヘルメット」について、当大会がドラフティング許可のため、後部が尖った形状の TT ヘルメットの使用を禁止します。

各種形状のヘルメットについては、(財)日本自転車協会のホームページを参照ください。

[http://jcf.or.jp/?page\\_id=11647](http://jcf.or.jp/?page_id=11647)

## [9] ホイール及びホイールステーション

UCI が承認した非伝統的ホイールリストに含まれるホイールを使用することを許可する。

(2つのリストが提供されている。1つは 2016 年 1 月 1 日以前に承認されたリスト、もう1つのリストは 2016 年 1 月以降に承認されたリスト)。このリストにないホイールは以下の基準を満たさなければならない。

- ・ タイヤ部分を含めて、最大直径 70cm、最小直径 55cm。
- ・ 両方のホイールが同じ直径
- ・ ホイールは少なくとも 20 本のスポークがあること。
- ・ スポーク径は前後とも、最大 25mm まで。
- ・ リムは合金でなければならない
- ・ 全ての部品は識別でき、商業的に入手できるものでなければならない。

### ホイールステーション

選手、チームホイールを CP3(シンボルプロムナード・ヒルトン側交差点)(WS-T)、ニュートラルホイールステーションを CP9(港湾合同庁舎南交差点)(WS-N)の2箇所に設置します。

WS-N オフィシャルホイールは次の通りです。

- ・ 前輪: 27インチ×5本                      ・ 後輪: 27インチ11S×5本
- ・ ディスクブレーキ仕様のオフィシャルホイールの用意は有りません。

個人、チームホイールは WS-T のみ。

スペアホイールを預ける選手は、女子 7 時 30 分、男子 10 時以降に「ヒルトン東京お台場」手前 T 字交差点のホイールステーション(WS-T)まで、レースNO・選手名(チーム名でも可 但し、使用予定のレースNOを明記)を明記し持参してください。

競技終了後、速やかにピックアップをお願いします。

## [10] バイク乗降車方法(ITU 競技規則準用)

乗車の際、選手の足が乗車ラインを越えて**完全に片足の裏全体**が地面についていること。

降車の際、選手の足が降車ライン手前で**完全に片足の裏全体**が地面についていること。

## [11] ペナルティ( ITU 競技規則準用)

- スイムでのペナルティ(フォールス・スタート、ショートカット)は、トランジション(T1)にて適用されます。
- トランジション以降でのペナルティは、ランコース上の進行方向トランジションエリア手前に設置されたペナルティボックスで適用されます。違反を行った選手の**レースナンバー(黒字)**と**違反コード(赤字)**がペナルティボックス入り口に掲示されます。ラン競技中に選手自ら確認して入ってください。  
違反コードは、以下のとおりです。

**D** = 降車ライン違反/Dismount Line Violation      **S** = スイムでの違反/Swim Conduct  
**M** = 乗車ライン違反/Mount Line violation          **E** = 用具の格納違反/Equipment Outside Box  
**L** = ゴミ捨て違反/Littering                              **V** = その他の違反/Other Violations

- ペナルティボックスに入らなかった場合は失格(DQ)となります。
  - 1) 不正スタート(フォールス・スタート)(**S**)はトランジション(T1)で15秒停止。  
※確認に時間を要した場合は、ペナルティボックスにて15秒停止の場合も有ります。
  - 2) ショートカット(スイムコースでブイの内側を回った場合)(**S**)はトランジション(T1)で15秒停止  
※確認に時間を要した場合は、ペナルティボックスにて停止の場合も有ります。
  - 3) 乗降車ラインの違反(**M** 又は **D**)はペナルティボックスで15秒停止
  - 4) 使用した競技用具を指定されたカゴに入れなかった場合(**E**)はペナルティボックスで15秒停止
  - 5) エイドステーションでのボトル等や補給食容器を規定のリタリングゾーンに投入しなかった場合(**L**)はペナルティボックスで15秒停止
  - 6) バイク、ランでコースを離脱し正しく復帰しなかった場合(**V**)はペナルティボックスで15秒停止
  - 7) その他(**V**)の違反はペナルティボックスで15秒停止

## [12] 周回遅れ対応

- バイク競技での周回遅れは競技停止(DNF)となります。  
※ 周回遅れとなった選手は、審判の指示に従い安全に十分注意し、減速停止し、速やかに歩道上上がり歩道上を徒歩にて会場まで戻って下さい。
- 先頭の選手がラン競技を開始し折り返し地点に到達したら、ラン折り返し地点までバイクで到達していない選手は、競技停止(DNF)となります。
- ラン(4 周回)では DNF 適用はありませんが、周回遅れとなった選手は、先頭ランナーとの併走を避け、早い選手の走路を塞がないように走行してください。

## [13] コース等の把握

- 競技者は、コース及び競技環境を事前に把握し、かつ、自らの責務でコースを確認して競技するものとします。(JTU競技規則第23条)
- ※ 公式バイク試走は有りません。  
交通規則を順守し事前に個々でコースの確認をお願い致します。
  - ※ 12日(金)午後からコースのポイント場所(折り返し地点、エイドステーション、ホイールステーション)が確認出来るように、歩道上にコーンを設置します。

#### [14] コーチ ID

コーチ ID を下記の通り発行します。

- 1) ジャパンランキング対象選手は、選手 1 名につきコーチ ID を1枚。
- 2) 地域ブロック代表については、下記表を基にコーチID発行します。

選手	1-2	3-6	7以上
コーチ	1	2	3

**※JTU 公認指導資格を有するコーチへのみ発行となります。**

- 3) スイムエリアの「コーチゾーン」、「アスリートラウンジ」のみ有効とします。

但し、テント内への立ち入りは、同性コーチのみとします。

また、オープンスペースでの選手への直接的なサポート(マッサージ、ワセリン塗布など)は控えて下さい。

アスリートエリア、トランジション、フィニッシュエリア、ミックスゾーンには入れない。

※コーチID申請フォーム(<https://goo.gl/pqh4Gf>)

11日(木)午前11時迄 (準備の都合上、早めの申請をお願いします)

※提出先: JTU事務局(E メール [jtuoffice01@jtu.or.jp](mailto:jtuoffice01@jtu.or.jp) 又は Fax03-5469-5403)に添付にてお送り下さい。

コーチ ID の受け取りは、10月13日(土)競技説明会受付(15時15分~15時45分)にて「フォーム申請済み」の旨伝え、受け取って下さい。 **受け取り会場: ヒルトン東京お台場 1階 ジュピター**

コーチIDの発行が、ご希望通り出来ない場合もありますのでご了承下さい。

コーチIDでの 選手、ご家族等の使用はできませんのでご注意下さい。

なお、再発行は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

#### [15] 応援活動(JTU競技規則第20条)

クラブ旗など応援用の旗・のぼり・ボードは、選手、観戦者のじゃまにならないよう関係者へ注意喚起をお願いします。また、大会広告バナーを隠さないよう配慮してください。

大会設営物への貼り付け物は遠慮下さい。

企業クラブの場合、事前に JTU 事務局まで確認が必要となります。

※お願い

コースは、住居エリアの生活道路をコースとして利用いたします。近隣住民の皆様への配慮としてチームや応援者に鳴り物による応援をしないよう、関係者への周知とご協力をお願い致します。

## [16] 各種情報

1)JTU 競技規則・改定案（第2次）＊2018/7/24 現在

[http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU\\_COMPETITIONRULES\\_20180724.pdf](http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU_COMPETITIONRULES_20180724.pdf)

2)第24回日本トライアスロン選手権 HP

[http://www.jtu.or.jp/national\\_championships/index.html](http://www.jtu.or.jp/national_championships/index.html)

大会スケジュール、競技コース等をご確認ください。

3)ITU Competition Rules

[https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport\\_competition-rules\\_2018.pdf](https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport_competition-rules_2018.pdf)

## [17] 2018NTT ジャパンランキング アワードパーティー

2018年のアワードパーティーはヒルトン東京お台場で行われます。

出場選手は参加費無料！必ずご参加いただきますようお願いいたします。

1)日程:開場: 15:00～、開宴: 15:30～

2)場所:ヒルトン東京お台場 1F オリオン

3)会費: 選手は無料 同伴者は5,000円 ＊未就学児無料・小学生2,000円

4)表彰内容:2018NTT トライアスロンジャパンランキング、2018トライアスロンジュニアランキング  
日本選手権表彰、アジア大会表彰

5)ドレスコード:スマートカジュアル(男性:スーツ、女性:ワンピース/スーツ等)

6)参加申込(締切:2018年10月11日(木))

<https://goo.gl/QWR7hx>

\* 選手手荷物預かり有、無料駐車券有(選手)

以上